

老



デー
行田市行田15
48・554・
営業時間は午前

からも大切にしていきたい」と話す。
四代目はそばで庶民の心を打ち続ける。
(櫻井和憲)

おにっこハウス拡大

節分の日 障害者ら運営、移転オープン



熊谷市板井のNPO法人「おにの家」が運営する地域活動支援センター「おにっこハウス」が移転し、規模を拡大して2月3日に新装オープンする。敷地外にあったみそ加工所も併設し、一体感のある施設として生まれ変わる。
(橋本浩佑)

熊谷
おにの家は1987年、障害者施設の元職員と障害者が2月3日に新装オープンする「おにっこハウス」と、働いているメンバー熊谷市板井

小さなみそ屋さんを開業したのが始まり。「心身のハンデイを問わず働く場を提供する」をモットーに掲げ、12人の障害者が働いている。地域に溶け込みたいという思いを込め、童話「泣いた赤鬼」から命名。手作のみそや地卵の販売などを行っている。

新施設は現施設の東約500㎡に立地。約5700平方㎡の敷地に、木造平屋建ての喫茶レストラン兼農産物販売所(約300平方㎡)と、みそ加工所(約230平方㎡)が建ち並ぶ。昨年4月に着工した。

喫茶レストランは屋内37席のほか、屋外のウッドデッキにも12席を設けた。みそ加工所はこうじ室に自動温度管理設備を導入したほか、みそ仕込みなどが楽しめる体験教室も。地元野菜の取り扱いも充実させるという。
尾島茂施設長は「『おにっこ』の名称にちなみ、節分の

日にオープンすることにした。移転を機に、より地域に身近に感じてもらえる施設を目指したい」と話している。
営業時間は午前10時～午後5時半。年末年始は休業。問い合わせは、おにっこハウス(☎048・538・134)へ。

「ネギをつくる〜終わりのなき挑戦〜」がビデオメッセージ部門で最優秀賞を受賞した。コンクールは関東地区高校

商店の魅力 ポスターで発信

日芸生がデザイン 来

商店街の活性化を目的に行田市商店会連合会は2月1日、同市忍2丁目の市商工センターホールで「市ポスターフェスティバル」を開催する。

日本大学芸生が描いたスター約70品9点を決選投票で決選した。同学科の店舗や市内を制作。商店、薬局、物店、薬局、店、フライ

「街づくり」企画した松裕さんへ

日芸生がデザインしたクリートン店のポスター

黒白
048-556-2968

袋と鞆の専門店 bag あぶらや
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂1-6-10
http://www.aburaya.co.jp

深谷
関東地区高校放送コンクールが25日、群馬県前橋市の前橋市民文化会館で開かれ、公立深谷第一高校放送部の作品